



今別小学校野球部、今年シーズン、初勝利初優勝

9月16日(土)に蟹田小学校グラウンドで開催された、外ヶ浜地区防犯球技大会野球の部で、今別小学校野球部が今シーズン最後の大会(6年生は最後の試合)で初勝利、そして初優勝しました。

今年の公式試合では白星が無く、6年生にとって最後の試合となる今大会は、初戦に三厩小学校を14-4で圧勝し、決勝では対平館小学校を9-5で快勝、見事今年の最終試合を有終の美で飾ることが出来ました。

平成18年度 今別町生きがい健康づくりと敬老の集い!

今別町長寿ベスト5

※誕生順になっています。

第1位 明治39. 2. 20
小鹿 サワ (大川平)
100歳

第2位 明治40. 8. 11
藤巻 コヨ (砂ヶ森)
99歳

第3位 明治41. 3. 17
成田 タミ (なかやま荘)
98歳

第4位 明治41. 3. 20
村上 志ま (大川平)
98歳

第5位 明治41. 6. 22
村川 みゑ (なかやま荘)
98歳

9月22日開発センターにおいて、『いきがい健康づくりと敬老の集い』が開催され、会場には約150人の関係者が集いました。

開催にあたり小鹿正義町長より「健康は誰もが願っていることであり、今日の集いを契機として、更に認識を深めて下さい。」とあいさつがあり、続いて「敬老の部門」と「生きがい健康づくり部門」の受賞者に表彰状と記念品が贈られました。
式典後は、今別保育園児による遊戯やアップルサークルによる大正琴が披露され、会場は笑い拍手に包まれていました。

◆白寿者(99歳) 3名

- (明治40年4月1日～明治41年3月31日までの出生者)
○砂ヶ森 藤巻コヨ
○なかやま 成田タミ
○大川平 村上志ま

◆米寿者(88歳) 17名

- (大正7年4月1日～大正8年3月31日までの出生者)
○今別 高坂キヨ

- なかやま 八木橋みや
○西田 畑井のゑ
○大川平 嶋中きせ
○二股 相内久吉
○村元 小鹿ソダ

◆喜寿者(77歳) 31名

- (昭和4年4月1日～昭和5年3月31日までの出生者)
老人クラブ加入者のみ

◆金婚者(婚姻50年) 3組

- (昭和31年4月1日～昭和32年3月31日までに婚姻届出夫婦)
○大川平 嶋中一夫・キミエ夫婦
○今別 工藤良逸・ゆか子夫婦
○浜名 木村春雄・つゑ夫婦

◆ダイヤモンド婚者(婚姻60年) 3組

- (昭和21年4月1日～昭和22年3月31日までに婚姻届出夫婦)
○今別 戸嶋徳一・タマ夫婦
○村元 勝野英男・マリ夫婦
○大川平 小野国雄・みきゑ夫婦

- 奥平部 三上吉郎・神セイ
○協和 川口フサイ・藤巻豊勝
○大泊 阿部シエ・田中イツ
○福寿会 宮本富末・中島イチ
○松葉会 相内昭子・田子すずゑ
○白梅 田中利子
○紅梅 田中運一郎
○旭 太田禮・金澤すゑ
○新生 鳴海八十三
○高砂 木村ヨリエ・中嶋茂子

男性部門 平成18年度長寿者番付表(18.9.14現在) 女性部門

順位	長寿者氏名	年齢	地区名
1	小倉正廣	97	褒月
2	宮越専藏	94	大川平
3	中嶋勝三郎	94	八幡町
4	田中久次郎	93	大川平
5	能戸常信	92	西田
6	梅田清一	92	今別
7	吉田太助	92	大泊
8	田中武五郎	92	大川平
9	佐藤光雄	91	なかやま荘
10	相内喜信	91	二股

順位	長寿者氏名	年齢	地区名
1	小鹿サワ	100	大川平
2	藤巻コヨ	99	砂ヶ森
3	成田タミ	98	なかやま荘
4	村上志ま	98	大川平
5	村川みゑ	98	なかやま荘
6	小鹿とせ	97	大川平
7	柏谷つる	97	なかやま荘
8	梅田ひて	95	今別
9	相内たき	95	二股
10	梅田ひて	95	今別

第14回市町村対抗 県民駅伝競走大会

「郷土の意地」

町民の応援を

背に力走

第14回県民駅伝競走が9月3日青森市で開催され、「健脚でつなげ郷土の和と心」をスローガンに県内、320人のランナーが8区間全長33・8キロで健脚を競いました。

市町村合併が進む中で、今大会は過去最少の40チームが参加し、正午の号砲を合図に1区のランナーがアスパム前をスタート。ゴールの県総合運動公園陸上競技場を目指しました。

この日の青森市は、スタート時の気温が27度を超えており、厳しい暑さとなりましたが、地元選手は沿道に詰めかけた応援団の声援を受けながら力走し、町の部17位と健闘しました。

平均年齢16歳と、若いチームで挑んだ今大会でしたが、暑さとプレッシャーに見事打ち勝った選手にエールを送りたいと思います。

今別チームの皆さん大変ご苦労様でした。

4区 (6.1km)



男子高校生以上
青森大学3年
川村北斗さん

3区 (4.6km)



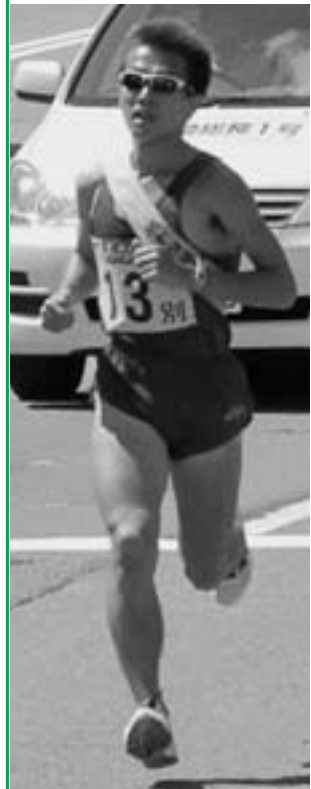
男子高校生以上
東京理科大学3年
綿谷貴志さん

2区 (3.8km)



男子中学生
今別中3年
相内貴宏さん

1区 (4.6km)



男子高校生以上
成城大学1年
綿谷智明さん



今別チーム
13

第
青森



8区 (3.8km)



男子中学生
今別中3年
泉谷優斗さん

7区 (3.2km)



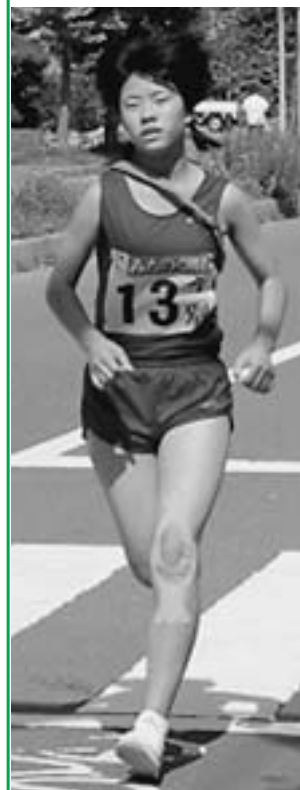
女子中学生以上
今別中3年
木村千夏さん

6区 (5.2km)



男子高校生以上
青森工業1年
澤田伸也さん

5区 (2.5km)



女子中学生
今別中3年
相内香穂さん



全国キヤラバン隊9年ぶりの来町

歓迎 交通安全キャンペーン

みんなですすめる交通安全「全国キヤラバン隊」が、9月1日、9年ぶりに来町しました。このキヤラバン隊は、今年で28回目の開催となり、全国7コースに分かれて交通安全キャンペーンを繰り広げ、東京から東北各県を経由後、北海道を巡回する予定とのことでした。

当町に到着した一行は、開発センターでの歓迎式に出席し、式典では間宮安子隊長（青森県交通安全母の会連合会長）が、内閣府特命担当大臣からのメッセージの伝達を行い、町交通安全母の会会長（代理副会長澤田弘子さん）が誓いの言葉を述べました。

式典が終ると、同駐車場内で、シートベルトを着用し、時速5キロでの衝撃体験や、白バイ乗車体験などが行われ、集った関係者80人ほどが次々と体験していました。



どう！似合ってる？カッヨイイ？



あー。衝突。交通安全心がけて！



今別町連合PTA（工藤清子会長）役員が、不審者への防犯対策として、「子ども達は自分達の手で守ろう」と黄色の防犯ベストを着用し、町内3班に別れて防犯パトロールを行いました。

今回は、街灯が無い通学路、不審な様子の人が集るような所、交通危険箇所や自然災害危険箇所などを選定し、巡回活動を行いました。

今後は、更に情報収集をしながら手作りで防犯マップを作成し、子ども達の安全を守るために、少しでも役立てたいと抱負を語ってくれました。



商工まつり開催



9月9日、10日の両日、別町商工会（相内喜久男会長）主催による商工まつりが開催され、大勢の来場者で賑わいました。

日頃、地域消費者である町民に感謝を込めて、お買い得商品の提供、塩ますの一本釣りやパターゴルフゲームなど各種イベントや、つがる海峡ちやか親童「北天舞悠」による「荒馬2006」が披露されました。

また、各種抽選会などが行われ、2日間で延700人の来場者で会場は賑わっていました。

商工会では今後も商店街の活性化に向け、新しい企画を考え次回開催へ意欲を見せていました。

浜名岳参拝登山



9月17日、(株)マルエイ相内工務店（代表相内泰博さん）は、参加者を集って浜名岳へ参拝し地域の発展や五穀豊穡、交通安全祈願を行いました。

参拝は今年で連続14回目となり、約25人の方が参加し行われました。昨年から参加している青森市内の「あすなる山の会」代表・澤田茂博さんなど、今年も沢山の方が参拝し、下山途中には、空き缶やゴミ拾いなどクリーン活動を行い、参加者が清掃作業に快い汗を流していました。

相内さんは「これからも毎年参拝を行うので、地域の皆様にも是非参加して欲しい」と話していました。

荒馬の里体験農園収穫祭

農園オーナー収穫を祝う

このほど、農園オーナーの家族連れ120人が、収穫祭を楽しみました。

晴天にも恵まれ40家族ほどがジャガイモ掘りを体験し、あちこちで歓声があがっていました。今回は子ども達にも特に楽しんでもらおうと、ジャガイモ掘りの合間に、甘く完熟した桃のもぎ取り体験を加えたほか、活性化センターでの休憩時に、野菜山菜が当たるドツブ引き、ジャガイモの大物賞贈呈（夕顔、カボチャなど）の催しで、終始楽しい1日となりました。

また、収穫祭とは別の日に、スイートコーンの収穫も行われ約70人の家族連れで賑わいました。

今年は去年より小さいかな？

8月30日、今別高校全校生徒がジャガイモ収穫祭を行いました。

生徒たちは、春に植えたジャガイモがどうなっているか楽しみにしながら、イモ掘り作業を行いました。今年は、日照不足もあり、昨年のような大粒のジャガイモが少なく、それでも生徒たちは作業を進めながら、「出できた」などと歓声をあげていました。作業後は、全員で豚汁を味わっていました。収穫したジャガイモは後日、老人施設に贈ることになっています。



全校総出でクリーン作成

海峡ささなみ公園を清掃



ゴミが結構多いね。ゴミは各自で持ち帰りましょう。

今別中学校（森内嘉一校長・生徒数99名）の清掃奉仕活動がこのほど、全校生徒が参加して行われました。

今回のボランティア活動は、地域の環境に目を向け、よりよい環境づくりに自主的に取り組むことや、ボランティア活動の価値とすばらしさを体験し、人の役に立とうとする意欲を持つことを目標とし、自主的に活動を行いました。参加した生徒たちは、ささなみ公園のゴミを拾い集め、作業が終了する頃にはゴミ袋がいっぱいになっていました。

文化活動で2冠獲得



左から大澤さん、澤田くん

第45回東郡中学校英語弁論大会が9月5日、今別中学校で開催され、東郡の町村8中学校から選出された生徒16人が、暗唱・創作の部でスピーチを競いました。

審査の結果、創作の部で今別中学校3年澤田大樹君が優勝し、暗唱の部で3年大澤優穂さんが3位入賞し、総合優勝しました。県大会に出場する澤田君は「県大会でも入賞して、全国大会へ出場します」と笑顔で抱負を話していました。

また、第54回外ヶ浜地区少年防犯弁論大会が9月7日平館中学校で開催され、優秀賞に今別中学校3年工藤聡子さん、奨励賞に2年山田沙紀さんが輝き、今別中学校が総合優勝しました。



左から山田さん、工藤さん

少年男子4年連続 国体出場、上位目指す

10月5日から10日まで兵庫県で開催される、第61回国民体育大会フエンスシング競技に、当町から7人出場することになりました。

出場監督選手は、少年男子の部で監督・戸島志郎（教委）、選手・澤田稔章（今高3年）、神正信（今高2年）、下川英知（今高2年）、成年の部で監督・平山寛哉（役場）、選手・阿部秀嗣（今別クラブ）、大馬義明（専修大）、「昨年はベスト8に入賞したが、今年は更に上位を目指して頑張りたい」と選手達は抱負を語っていました。



青森県代表少年男子、左から澤田選手・神選手・下川選手

中学生ボランティア体験活動

今別中学校では9月8日、13日の両日、3年生による総合学習「ボランティア体験活動」が、特別養護老人ホームなかやま荘とデイサービスセンターひよりの両施設を訪問し、ボランティア体験活動を行い、生徒一人ひとりが感じたことを述べていただきました。

なかやま荘での体験を通して

★相内 貴宏
おじいちゃんやおばあちゃん達と触れ合ってみて、結構楽しいなと思いました。これからもそうゆう機会があったら、積極的にやりたいと思います。今回の体験は良い体験になりました。

★相内 凌
おじいさんおばあさんがたくさんいて、僕は「手伝いたい」と言う気持ちになった。自分は今まで、ボランティア活動をやってきて、一番大変だったと思う。しかし、とてもいいことを学んだのでよかったです。

★赤石 瑞樹
体験を通して色々事が出来た。清掃奉仕活動では車椅子や窓ふきなどを、園内をキレイにしようとかんばった。そうした中でたくさんの高齢者の方々と触れ合いを話したりした。
今回の体験をしてよかったです。

★蝦名 竜樹
僕はなかやま荘でのボランティア活動は初めてだったので、とても戸惑った。僕は苦しうに仕事をしているのに、なかやま荘で働いている人達は楽しそうに仕事をしている

のがすごいと思った。なかやま荘の人達とは、なかなかうまく話せなかったけど、ありがとうと言われた時はうれしかった。今日の経験を今後に生かしたい。

★平山 大地
中の部屋一つずつ掃除するのが大変だった。また、初めて車を押すことができてよかった。ふれあいタイムで話をすると、僕の事を聞いていたおばあさんがいた。食事配膳で名前を呼んだ時に老人の方たちが手を挙げて返事をしてくれたのでとても助かった。今回の体験は初めてのことはかりで、とても勉強になった。

★南 裕次郎
今までに、これほど大変なことはあまりありませんでしたが、今回のボランティアを通して、こんなにも介助が大変だとはしりませんでした。この仕事をやっている人達を見ると、みんな真面目で何ごとにも一生懸命で今回、このボランティアに行ってきたなと思いました。

★山田 晃大
僕は、いつも使うことのない神経を使って、体もつかれたけど、心もつかれた。でもやっている内に楽しくなっていて、お年寄りの方に「あ

りがとう」と言われたときは、すごく気持ちよくて最高でした。なかやま荘で働いている人達は、ほとんど僕の知り合いで、いろいろな事を聞くことができたし、いろいろ教わりました。最後に、このボランティア活動をして思ったことは、お年寄りのみなさんは心が優しく、とても良い方が多いということを感じました。今度また、ボランティア活動（何でも）があったら、進んでたくさんで今別町のために働きたいと思いました。

★工藤 聡子
なかやま荘のような福祉施設にボランティアに行ったのは初めてだったので、仕事の大変さにはとてもびっくりした。人を相手としての仕事なので、一つ一つをとってもいいいに真剣にやらなければならなかった。また、思いやりがなければできない仕事だと思った。笑顔や仕事の正確さがとても重要だということが分かり、とても勉強になった。

★相内 香穂
外の窓ふきは、とても汚くて大変だった。コミュニケーションでは最初なかなか話せなかったけど、なれてくるとたくさん話したのしく話ができた。ごはんをたべさせてあげるの、なかなか入らなくてとても大変でした。でもいい経験になりました。

★相内 濃乃香
部屋に入る時など、さほど苦労もなく、むしろお年寄りの人達から声をかけてもらった。ご飯を運んでいる時も、名前を呼んだら、答えてくれたものすごくよかったです。せんとくとかもすこい量でビックリした。あまり疲れずにやれた、むしろおもしろかった。

★上野 星
最初の方の窓ふきとか、おしほり等の配布とかは簡単で、他にも簡単かなって思ってた。最後の食事介助が大変だった。自分が介助した人は、自分では食べれない人で、時々せきこむことがある人でした。だから、様子を見て食べさせないといけなくて一番疲れたけど、自分から口を開けて食べてくれたりして、食事好きで元気な人だなあと思った。全部食べてくれたうれしかったです。おじいちゃん・おばあちゃん達みんな優しくな人たちでした。

★木村 千夏
各居室清掃をしていたときに、お年寄りの人たちが、ありがとうといってくれたのでうれしくなりました。そのおかげでやる気ができました。お年寄りの人たちは、すごく元気がいし、仲がよかったです。

★小鹿 春菜
1つ1つ部屋を掃除するのが大変でした。ごはん食べさせてあげるのがすこくドキドキした。ちゃんと食べてくれたのでよかったです。午前中だけだったのでよかったです。使ってしまったのに、3日分の体力をいける人かなり尊敬ですね。人のために働いている人ってかっこいいです。

★佐々木 彩華
窓ふきはすこく楽しかった。車いすをおすのもすこく楽しかったです。コミュニケーションは何を話せばいいかわからなくて、とまどったけど、おもしろかったです。でも、すこくつかれました。

★佐渡 伊織
今まで、なかやま荘には何回か

行ったけど、その中でも一番大変な一日でした。とくにその中でも一番大変だったのは、食事介助とお話です。うまく口の中に食べ物運ぶことができなかったり、話をする時はどんなコトを話すかと言うコトに苦労しました。なかやま荘の人は、子供の人が話すのが好きだと聞いたので、ボランティアなどで行く人は、やさしく接してほしいです。

★新岡 美里
お年よりは、わたし達よりも体が弱いからすこく気をつけました。同じ地域のおじいちゃんおばあちゃんとお話を深められたのでよかったです。最初は、おどおどしていましたが、最後は落ち着いてきたのでよかったです。この仕事は体力もつかれますが気もつかう仕事だと思います。

ひよりの体験を通して

★島中 幹也
ひよりに行って苦労してことは、最初の時、お年よりの人たちに話をする事です。話している内容がなかなかできてきませんでした。でも、ひよりに来ている人たちの話を聞いてみるとだんだんおもしくなってきました。機会があったらまた、やってみたいと思いました。

★山崎 大志
初めて利用者の髪の毛を洗った。少しだけいい匂いはあったがいい体験ができたのでうれしかった。僕はすこいかんしんをもてた。働いている人達がすこくいい匂いでした。

★平山 友希
今日、体験してみてもお年よりの人には、大きな声で言ってあげないと

聞こえないし、優しく手をにぎってあげないと痛いと思うので、気をつけないと大変な事になると思いましたが、私はこういう仕事をやってみて、大変な事になると思いました。私は、こういう仕事をやってみて大変だったけど、お年よりは喜んでくれたので、すごくうれしかったです。

★三浦 豊

まず、ひよりに入った時は、きれいでとてもすこしやすそうでした。お茶を入れて、おじいさんおはあさんに話しかけたら快く返してきてとってもよかったです。ひよりについて知らなかったことがいろいろわかったし、貴重な体験ができたので、これを普段の生活にも生かしていきたいと思います。やっぱり元気が一番！

★本郷 実彩紀

自分から思いついて話しかけることができた。耳の遠い方もいたので大きな声で話すが大変だった。入浴はみんなとても楽しそうにして入っていたを見ていた私達まで楽しくなりました。髪をかかすのもとても気を使いました。理由は、温度が熱いのではないかと気を使ってしまうからです。でもその分終わると、とってもおきの笑顔でお礼を言ってくれてうれしかったです。

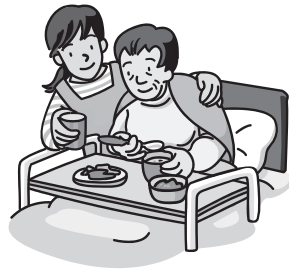
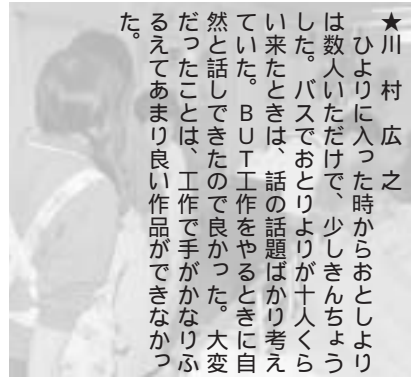
★山内 麻未

最初のうちは自分も利用者の方も緊張してうまく話ができなかったが、時間が経つうちに徐々に慣れてきて平気になった。おフロを見せてもらった。ジャグジーみたいで入りたくなかった。車イスを使って歩けない人用に機械に乗せて湯船につけていた。働いている方の利用者への話し方が友達同士のみたいで参考になっ

た。「腹から大きな声を出す」という重要性も学ぶことができた。普段お年寄りの方とふれあうという事がないので、いい刺激になった。目指せ！100歳

★川村 広之

ひよりに入った時からおとしよりは数人いただけで、少しきんちようした。バスでおとりよりが十人くらい来たときは、話の話題ばかり考えていた。BUT工作をやる時に自然と話してきたので良かった。大変だったことは、工作で手がかなりふるえてあまり良い作品ができなかった。



中学生のみなさんボランティア体験活動大変ご苦労様でした。各施設では、短時間の活動でしたが、普段なかなか出来ないことを体験し、とても充実したことが感想に表現されています。ご協力ありがとうございました。

山林と人のかかわり

—— 今昔 —— (七)

近代政府と国有林の誕生



攘夷を旗印に幕府を倒した

明治政府は、結局のところ西欧の技術文明、植民地政策を取り入れ、富国強兵の路線を進みます。その財政基盤は農山村の地租でした。これまでに米で収めていた年貢は、収穫に左右されないよう金納となります。山林原野もほとんど政府の所有となりました。

青森県の国有林は北海道を除けば全国一位の88・3%。原因は中央の役人にすぐ頭を下げる後進的な県民性を言われてきました。

明治11年、内務省山林局設

置と同時に青森にまず全国初の出張所が置かれます。続いて秋田、長野、岐阜の順。すべてが官林という強制に対して、民有林を主張して抵抗したのは先進林業地帯。徳島の木頭林業、奈良の吉野林業、京都の北山林業、三重の尾鷲林業など。警察権を持つ内務省の仕事は、農山村の人々の

反発や暴動に対して官林を守ることであったと言えるでしょう。岩木山の雪を夏に切り出

して、弘前市内を売り歩く貧しい業者に対しても、青森大林区署は山道の通行を禁止しています。全国的な不満に対して政府は明治32年、期限付きの「国有土地森林原野下戻法」を制定します。民有の証明があれば地租改正の際、あやまつて官地にしたものを返還するとしたのですが、この手続きは至難のわざ。弁護士料や訴訟費用を調達できるのは限られて人達です。

青森県では二千九百十件の申請に対し、二千八百十二件が却下されています。藩政時代は許されていた、まぐさ場への立入りも出来ないというのが官林の姿となったのです。さて、ヒバ山の伐採はどう

なったでしょう。弘化元年(1844)の旅行者、松浦武四郎は今別から奥平部まで

の道すがら「みなヒバ山、はなはだ繁茂せり」と記します。40年程たった明治10年代津軽郡村誌(町史参照)はそこにかんりのスギ林を見ています。伐採は絶え間なく続けられたようです。

明治19年の県下の伐採量(針、広あわせて)は二十五万一千㎡、明治38年には五十五万二千㎡となり藩政の最盛期をずっと上回ります。その頃の今別在任の成田さんの証言が残っています。伐採したヒバは冬季間の運搬でした。彼女は秋田から今別の山に出稼ぎに来ていた人と結婚し、3人の子どもを抱え農漁業の手伝いをしていましたが、冬は大きな人力そりに舵棒を付けて、ヒバ丸太を運ぶ石曳きをしました。「てかてかに凍った雪道の石曳きは、ほんとうに大変だった」と彼女は言っています。



澤田 瑞穂さん (今別八幡宮宮司)



高桑うめさん (大川平)



おばあちゃんのお話

第7話

最初で最後の修学旅行

昭和初期の日本は全国的に大凶作続きで、特に北端の蟹田以北は皆無作が何年も続き、主食にも事欠く家族が多く、そんな生徒達には昼食に鮭の入ったおにぎり一個皿に入れ、用務のおばさんが順番に渡してくれたあの時、あの味は今も昨日の事のように思い出します。

当時、教科書は其田商店が扱っており、家庭に余裕のある生徒は、毎年新しい教科書から学用品一式揃え、私達貧困家庭の子供達は、上級生が使用した教科書のお下がりでも、結構大切に使った。消しゴム一個買って兄と半分に分け、教科書や教材は大切に使うものと自然区作から学んだようです。

の住宅まで年
老いた母親を
背負って来た
親孝行息子だ
と噂でした。
大川平が校
長として初め

ての赴任地でした。
女のせき先生は、天然パー
マ、縁無し眼鏡で今思えば大
島の羽織、紺の袴は今でも記
憶に残っております。
生徒数も多く教室も足りま
せん。3、4年と複式だった
り、私達のクラスはズルスケ
が多く、女のせき先生を困ら
せた反面、個性のある生徒が
多かったとか。

奈良校長が担任になるや敵
しく、この苦しい時、家庭の
主が無い米でダグ造り、貧乏
に輪をかけているとか、皆も
国民の三大義務とは何ぞやと
口説くようになれば怖かった。
税金も払えずに「だく」を呑
んで村中両手広げて歩き何ぞ
や、そんな話になれば、口角
泡を飛ばし折角威厳のある髭
に泡をつけ汚い印象もあった
市内の子供達と田舎の子供達
の差を感じての思いやりから
と思うが？
学校が始まって以来の修学
旅行が実現したことです。

昭和10年戦争も始まっていた
頃、修学旅行が決定し旅費3
円と記憶しておりますが？。
5、6年生で人数は女3人
の申込みでしたが一泊なので
寝る時相手が無いのもう1
人ということとで私に白羽の矢
がたち、5年生3人6年生1
人の女子、男子は5、6年生
で16人位だった。

文化会館前からバスに乗り、
校長夫妻が引率、お昼頃青森
到着し先生がパンを買って来
て渡し、アンパン・ジャム・
クリーム美味しかった。
市内見学から始まり、バス
で行ったのか確かな記憶はな
いが、浅虫水族館、ガラス工
場、東奥日報、缶詰工場など
見学、山六旅館に1泊し晩は
映画も見たような、何もかも
珍しく、翌日は松木屋でお土
産を買い、小遣いも幾ら持っ
たのか記憶ない。飴八1個、
エルゲン1箱を買い、お土産
とし色々な失敗や楽しい思い
出を残した最初で最後の修学
旅行になりました。

敗戦後、市内の自宅を訪れ、
昔の思い出話に時の経つのも
忘れ語り合い、それが奈良校
長夫妻との最後のお別れにな
りました。

駐在所からのお知らせ

～振り込め詐欺に御用心～

「そのお金、振り込んで大丈夫？」

県内では、8月末現在101件・8,079万円の振り込め詐欺被害が発生しています。

手口は、交通事故、痴漢行為示談金、料金未納、滞納・融資保証金、変更手数料等の名目で要求し、振り込み・送金・現金書留で入金させるものです。

被害に遭わないためのポイント

- ・オレオレ詐欺～
一旦電話を切り、直接本人確認。
- ・架空請求詐欺～
身に覚えのない要求に応じない。
- ・融資保証金詐欺～
低利融資、保証人・担保・来店不要などの記載に要注意

いずれにしても、早急に現金を要求したり、県外の口座に振り込みを要求したり、ATMで振り込みを要求するような振振な電話を受けた場合は、駐在所や警察署へ相談して下さい。

連絡先 今別駐在所 35-2029
外ヶ浜警察署 22-2211

ご利用ください！便利なe-Tax！

e-Tax（国税電子申告・納税システム）のサービスが、全国でご利用いただけます。

e-Taxでは、所得税、法人税、消費税などの申告・納税・申請等、国税に関する手続きが自宅や事務所からインターネットで行うことができ大変便利です。源泉所得税や消費税の納付など回数の多い手続きに是非ご利用ください。

ご利用に必要な手続など詳しくは、

全国一律市内通話料金の「ヘルプデスク」

(0570-015901 利用時間 平日午前9時～午後5時)

e-Taxホームページ (www.e-tax.nta.go.jp) まで

青森税務署

表示登記無料相談会開催

「土地家屋調査士」は、表示登記・筆界特定手続の専門家です。みなさまに代わって登記及び筆界特定手続を代行いたします。土地の境界問題でお困りの、その他建物や土地の表示登記・筆界特定手続などに関してご相談承ります。

なお、当日は電話による無料相談も行います。

日時：平成18年11月19日(日) 午前10時～午後3時30分

会場：青森市「アウガ 5階 研修室」

弘前市「弘前市民会館 2階 会議室」

八戸市「八戸市公民館 2階 会議室」

十和田市「十和田市中央公民館 ホール」

電話による相談は調査士会館事務局 017-722-3178

◆行政相談所開設のお知らせ◆

と き 平成18年10月21日 (土)
午前10時～午後3時
ところ 中央公民館

行政相談委員 成 田 りせ子
☎35-3860

当日、用事等で来所できない場合は、自宅でも受付してしますのでお気軽にご連絡下さい。

相談は無料で秘密は守ります。

戸籍の窓口

(8月1日から31日の届出分)

ご結婚おめでとうございます

(太 田 寛 隆 (青森市)
田 中 公 美 (村 元)

お悔やみ申し上げます。

嶋 中 京 子 (70) 山 崎
嶋 中 清 實 (80) 大川平
太 田 清 一 (79) 浜 名

●今別の姿(平成18年8月31日現在)

面 積 125.27km²
人 口 3,939人(-7)
男 1,863人(-2)
女 2,076人(-5)
世帯数 1,662 (+1)
()内は前月比

掲載を希望されていない方は、届出での時に住民保険課へ申し出下さい。

また、東奥日報・東奥ウェブについても同様申し出て下さい。

まちの行事予報 10 / 5 ~ 11 / 10

イ マ ダ ス

日	曜	行 事 予 定 場 所
8	日	2006スポーツフェスティバル in いまべつ
13	金	今別高校体育祭
14	土	今中祭 ~15日 (今別中学校)
22	日	秋の火災予防運動パレード
29	日	産業と文化のまつり (開発センター)
11 月		
1	水	就学時健診
5	日	荒馬っ子スクール「スケート教室」

農家の皆さんへ

農地の再利用について

- 1 田(休耕田・遊休農地)を再利用(畑)したいなどの理由で農地に土(土砂)を入れる。
工事等により一般仮置きする場合、又は耕作以外の目的で農地から土を搬出する場合も事前に農業委員会に届けて下さい。
- 2 農地(田・畑)を農地以外に利用した場合(自分が所有している農地を売買したり、貸し借りして住宅、アパート、牛舎、その他建築物、又は駐車場、資材置場等を作りたい場合)農地法(転用許可)の手続きが必要です。
- 3 申請は毎月10日が締切りです。10日が土、日、祝日にあたる場合は、休み明けが締切りとなります。

農地を守ろう！

お問い合わせ

今別町農業委員会(役場内) 電話 35-2001

軽油引取税の制度について

軽油引取税とは、道路の新設、補修などの費用に充てるため、軽油の引取りや灯油・重油などの自動車用燃料としての消費などに対して課税される県の税金です。

○税率

1キロリットルにつき32,100円です。
(1リットルにつき32円10銭)

○申告と納税

県から特別徴収義務者として指定を受けた特約業者や灯油・重油などを自動車用燃料として消費した自動車の保有者などが、1か月分をまとめて県に申告して納めます。

不明な点や詳細につきましては、

青森県税事務所課税第一課

017-734-9972

国民年金保険料は コンビニエンスストア等でも 納められます

国民年金保険料は、金融機関、郵便局、会社保健事務所のほか、コンビニエンスストア(コンビニ)でも納められます。

コンビニで保険料を納めるときは、バーコードが印刷された納付書をご使用下さい。金融機関が近くにない方、日中忙しくて金融機関に行けない方は、どうぞコンビニをご利用ください。

なお、お手元に納付書がない方は社会保険事務所までご連絡ください。

インターネット等を利用しての納付方法について社会保険庁ホームページでご案内しております。

<http://www.sia.go.jp/>

詳細はお住まいの市町村国民年金担当窓口またはお近くの社会保険事務所までお問い合わせ下さい。

事件・事故発生時の避難場所 「こども110番の家」にご協力下さい。

③1 町の元気人 げんきひと

蟹田・平館の曇り空を抜け、今別に入るとスカッと青い空と濃紺の海、「あー、やっぱり今別いいなあ」家に着いて「コウコウ水を飲む。「あーやっぱり今別の水美味しいなあ」平成8年6月、広報キブラ「夢物語」にコラムを掲載させていただいて、あれから10年。この節目に「工藤さん、今月みんなに断られてえー」と広報担当者に見つめられて、今回「元気人」に登場することになりました。

私は現在、公民館で子育てサポーターとして週二日、火・木曜日に勤務しています。
講師を招いて若い方から年配の方まで、一緒に楽しく学べる子育て講座を開いています。私達親のストレス解消法や、子どもとの関わり方、更年期の治しかたまで、お茶を飲みながら沢山お話ししたいと思っています。

来て良かったなあと思っていただける様、精一杯頑張っています。本当にお待ちしています。
おかげ様で、皆様に声をかけていただき、支えられて、今日も一歩一歩進んでいく私です。
おかげ様で、今日も「元気」に過ごせる工藤家一同です！

頑張れ 元気人



工藤清子さん（八幡町）

町では、元気人を探しています。自薦・他薦かまいませんので、広報担当までご連絡ください。

③1 町のたから



横岡 達也さん

（奥平部）の長女

奈子ちゃん

大きくなったら、買い物やおしゃべりをしてくれるかな。

（母 千和子さんの願い）

町に住所を有する3歳以下（平成14年4月2日誕生日以降）の子どもさんを掲載しています。

編集後記 わのこころ

みなさんお元気ですか。残暑が続いた9月。県民駅伝大会では、厳しい暑さの中で郷土の誇りを胸に、タスキを最後までつないだ選手のみなさん、本当にお疲れ様でした。また、応援していただいた町民のみなさん、ありがとうございました。

また、「敬老のつどい」に出席された、爺ちゃん・婆ちゃん、とにかく元気でしたね。

ちなみに日本国内で9月末に100歳以上となる高齢者は、過去最多の2万8395人だそうです。今別の長寿たちも長寿世界ギネスに挑戦する気持で、健康に気を付けて長生きをしてほしいと思います。

10月がスタートし、やっと涼しい秋がやって来ました。秋と言ったらやっぱり「食欲の秋」「実りの秋」、またまた丈夫になってしまつ胃袋&ウエスト！厳しい冬を乗り越えるために必要な脂肪を溜める（熊？）絶好な季節になりました。私の場合、2年間分は溜まっているかな。しかし、台風や前線の影響で天候が不安定になる季節でもあるので、災害に対して十分気を付けて下さい。

私も、長生きしたいと思いますので、これから禁酒禁煙、早寝早起きを検討中です。

「ま、あてになねな」と言つ事で

『それではまた……、へばな』

《平寛》